

ハンズオン教材に関するワークショップ

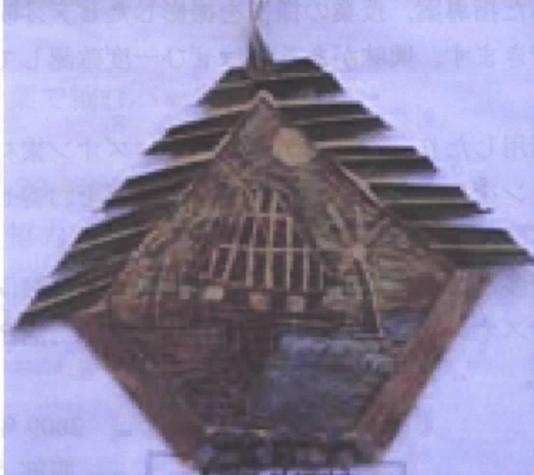
服部 勝憲（鳴門教育大学教員教育国際協力センター長）

松崎 昭雄（鳴門教育大学教員教育国際協力センター）

開発途上国で手に入る素材を活かす
ハンズオン教材の作り方

平成 21 年 3 月

鳴門教育大学教員教育国際協力センター



はじめに

子ども達の学習への興味を喚起し、学習内容についての理解を深めるために、世界各地で授業展開の考え方や方法の改善が求められています。既成の教材がほとんど期待できない開発途上国の教育現場に派遣された多くの青年海外協力隊員の方々は、限られた環境・物資の中で創意工夫を凝らし、教材を作成し、目を見張るような授業を行っています。

子ども達が実際に手にふれ、活動を行うことで学習を進めるような教材をここでは「ハンズオン素材」と総称しました。ところで多くの場合、協力隊員によって開発された優れたハンズオン素材が、次の隊員たちの実践に引き継がれるには、様々な課題があるとお聞きしたことがあります。

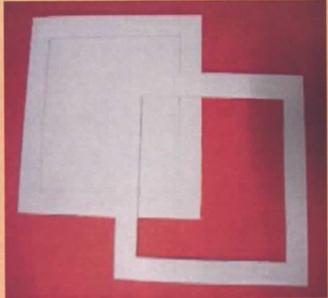
このような状況を改善すべく、鳴門教育大学教員教育国際協力センターでは、文部科学省大臣官房国際課国際協力政策室の推進する平成19年度「国際協力イニシアティブ」教育協力拠点形成事業に「派遣現職教員の活動の幅を広げるハンズオン素材とその活動展開モデルの開発」プロジェクトを展開しました。それについては、「途上国で手に入る材料で子ども達を引き付ける授業ができるハンズオン素材集」(216頁)として発行しました。その内容の多くは、隊員たちによって開発されたハンズオン素材を集約したもので、各地での活用を願いとめたものです。

平成20年度は昨年度の集約したものを基盤にして「日本国内での実践知を反映したハンズオン素材の集約」という観点から、「開発途上国で手に入る素材を活かすハンズオン教材の作り方」という冊子にとりまとめました。そして現地で利用しやすいように、また現地の先生とも内容を共有していただけるよう、多言語(英語、フランス語、スペイン語、アラビア語)への翻訳も進めてきました。さらにハンズオン素材は本書だけでなく、Web上でも閲覧できるようになっています。鳴門教育大学教員教育国際協力センターのホームページには、ハンズオン素材データベースが稼動しています(<http://incet.naruto-u.ac.jp/>)。他にも筑波大学教育開発国際協力センターの管理する「国際協力イニシアティブ」ライブラリにも同様のハンズオン素材は登録されています(<http://e-archives.criced.tsukuba.ac.jp/>)。本書に掲載しきれなかったハンズオン素材の補足資料や実際に授業を行った指導案、授業の様子を撮影したビデオ映像などは、これらのサイトから確認することができます。興味がある方はぜひ一度確認してみてください。

本書に掲載されているハンズオン素材を活用したり、ご自身が新しいハンズオン素材を開発されたりした際には、次の隊員の方にバトンを渡すためにも、私どもに情報をお寄せくだされば幸いです。

最後になりましたが、隊員としての活動で多忙な中で、本プロジェクトの趣旨に賛同し、ハンズオン素材を提供くださった皆様、ハンズオン素材についてご検討いただいた活動実施者はじめ関係者の皆様に深く感謝いたします。

2009年3月
服部 勝憲

タイトル	スクラッチの不思議		
対象概念	描材の重ね塗りによる表現の工夫		
ねらい	好きな色を塗り重ねて、身近にある様々な用具で思いのままにスクラッチし、楽しい模様を表現する。		
ハンズオン 素材と準備	白ボール紙：1人2枚  18cm 平方の白ボール紙と 2cm 幅の同形の枠を準備しておく。	スクラッチ用具  ひっかくことができるものを、身のまわりから探す。(例) 硬貨、楊枝、フォーク、定規	描材  (例) パステルクレヨン
必要な材料	のり		
製作過程	(1) うすい色のパステルクレヨンでしっかり下塗りする。 	(2) 濃い色のパステルクレヨンを1色選び、全体を厚く塗る。 	(3) 定規などで強弱の変化をつけて自由にスクラッチする。 
	(4) フォークなどでも違った線や流れを入れる。 	(5) 最後に白ボール紙の枠をのりで貼り付けて完成する。 	
指導の際のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・パスの重ね塗りの効果を理解させる。 ・様々な用具によるスクラッチから生まれる模様の面白さを発見させる。 		
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・パスは薄い色から先に塗り、最後は一番濃い色で均一に塗らせる。 ・用具を回転させたり、太い線や細い線、動きをつける面白さも紹介する。 		

事例紹介	国名(言語)	パラオ共和国 (英語)	学年	小学校7年生
	使用素材	白ボール紙(四つ切): 1人1枚, スクラッチ用身辺材 パステルクレヨン, 額縁の装飾用身辺材, ボンド		
	時間数	135分(1コマ45分×3)		
	(1) 1枚のボール紙から好きな形のベースと同形の額縁をつくる。	(2) ベースに薄い色のクレパスを塗る。	(3) 濃い色のクレパスでさらに上塗りする。	(4) 身の回りにある道具でスクラッチする。
				
	(5) 額縁を飾る。	(6) ベースに額縁をつける。	完成作品	
				
				
事例紹介	国名(言語)	パラオ共和国 (英語)	学年	小学校3年生
	使用素材	白ボール紙(白色): 1人2枚, パステルクレヨン, フォーク, スプーン, 定規, コイン, 竹串, のり		
	時間数	90分(1コマ45分×2)		
	スプーンでスクラッチする	フォークでスクラッチする	定規でスクラッチする	
				
完成作品				
				
製作者	森本 美鶴 (鳴門教育大学 大学院学校教育研究科 国際教育協力コース)			